

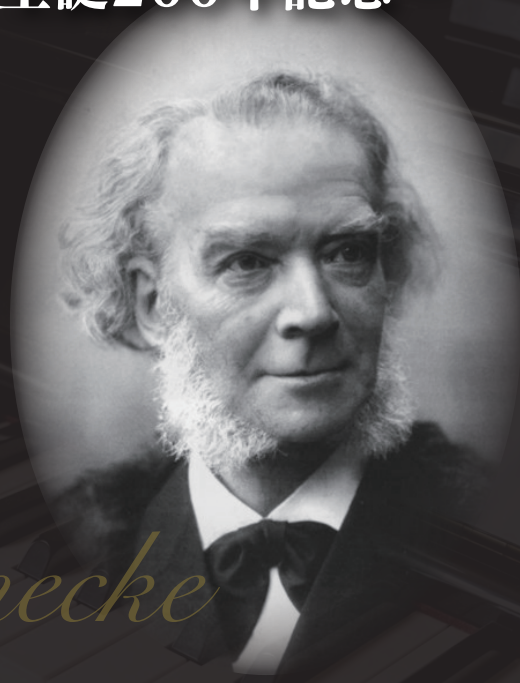
♫ 音楽史・秘蹟を巡る旅

# <ライネッケのピアノ音楽> 全6回

—カール・ライネッケ (1824-1910) 生誕200年記念—



演奏：金澤 攝 (かなざわ をさむ)



*Carl Heinrich  
Carsten Reinecke*

2024. **5.26** [日] ~ **10.29** [火] Halle Runde (名古屋市昭和区桜山町)

第1回

2024. **5.26** [日]

<第1部> 14:00~  
1837年~1847年の作品より  
<第2部> 16:30~  
1850年~1858年の作品より

第2回

2024. **6.24** [月]

<第1部> 16:00~  
1859年~1865年の作品より  
<第2部> 18:30~  
1865年~1874年の作品より

第3回

2024. **7.8** [月]

<第1部> 16:00~  
1875年~1878年の作品より  
<第2部> 18:30~  
1879年~1881年の作品より

第4回

2024. **7.27** [土]

<第1部> 14:00~  
1882年~1884年の作品より  
<第2部> 16:30~  
1887年~1888年の作品より

第5回

2024. **9.15** [日]

<第1部> 14:00~  
1890年~1893年の作品より  
<第2部> 16:30~  
1894?年~1897年の作品より

第6回

2024. **10.29** [火]

<第1部> 16:00~  
1900年~1906年の作品より  
<第2部> 18:30~  
ライネッケへの献呈作品集

チケット代金 (各回) 全席自由・整理番号順入場

一般：2,500円 学生：1,500円

各回60分程度の予定、1部と2部の間にコーヒープレイクを行います。

『花束よりチケットを』

チケットの購入はこちらから

ルンデ  
<https://dbf.jp/runde/kanazawawosamu>

\*未就学児のご入場はお断りいたします。



カール・ライネッケが19世紀最大級の音楽家であることを知る人は少ない。  
作曲家・ピアニスト・指揮者・指導者の各方面で傑出した功績をあげた全能的な音楽家としてのスケール感、信じ難いものがある。  
音楽史的にはシューマンとブラームスの間に位置するドイツの作曲家であり、スメタナ、ブルックナーと同年生れである。かつてはモーツァルトのピアノ協奏曲のカデンツァやフルートソナタ「ウンディーネ」で知られるのみだったライネッケだが、デジタルの時代となって室内楽曲・交響曲・協奏曲等のCD化が進み、その再評価の気運は確実に高まりつつある。それでもなお、彼の巨大な全貌を窺い知るには程遠い。

特に名ピアニストと謳われたライネッケにとって、当然ながらピアノ音楽が創作活動の中心であったにもかかわらず、その大部分が未だに録音されていないのはなぜか。恐らくはその作品群が余りに膨大なうえ、教育用・子供向けの作品がかなりのウエイトを占めていることも一因だろう。その音楽は明るく、慈しみに満ちている反面、徹底した職人気質に貫かれた厳しさを特長としている。こうした気質はシューマンやブラームスとは異なり、むしろバッハに近い。

ゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者として、長年にわたり優れた古典曲や新作を世に紹介し、当代屈指のピアニストとして活躍、教育者としてはライプツィヒ音楽院の名声を世界に拡め、その門下からはグリーグ、リーマン、シンディング、ワインガルトナーらを輩出している。明治の世に日本から滝廉太郎が留学したのも、ライネッケが院長を務めていたこの学校だった。

数多くの古典作品の校訂譜を出版し、その神髄に通じていたライネッケは、恐らく自らを音楽史の総括者としての自覚のもとに活動を行っていたと考えられる。それは個人のオリジナリティを超えた働きであり、単なるアカデミズムの権化ではない。そのことを理解できない人は彼を時代遅れの保守主義者と見たのである。

ライネッケ生誕200年を記念する今回のシリーズは、少年時代から晩年に至る厳選した約60点のピアノ作品を時系列で一瞥する空前の企画である。6回にわたるツクルスは各日共、演奏時間60分余りの2つのステージで構成され、実質12回のコンサートとなる。その最終ステージでは時間枠を拡げ、同時代の作曲家によるライネッケへの献呈作品を集めて、この巨匠の存在感をさまざまな視点から偲んでみたい。

2024.4.3 金澤攝

<b>第1回</b> 5/26 [日]	<p>&lt;第1部&gt; 1837年～1847年の作品より 2つの性格的小品と1つのフーガ Op.1/4つのピアノ曲 Op.2/幻想小曲集 Op.7/ワルツカプリス Op.11/4つのピアノ曲 Op.13/ソナタ形式の幻想曲 Op.15</p> <p>&lt;第2部&gt; 1850年～1858年の作品より バラード第1番 Op.20/3つのロマンス Op.28/夜の歌 Op.31/狩の曲 Op.39/セレナード Op.48/J.S.バッハの主題による変奏曲 Op.52 古い舞曲と新しい舞曲 Op.57</p>
<b>第2回</b> 6/24 [月]	<p>&lt;第1部&gt; 1859年～1865年の作品より 前奏曲とフーガ集 Op.65/ノクテルノ Op.69/ハウスムジーク Op.77/G.F.ヘンデルの主題による変奏曲 Op.84/南国の絵 Op.86</p> <p>&lt;第2部&gt; 1865年～1874年の作品より 少女の歌 Op.88/少年時代より Op.106/3つのピアノ曲 Op.113/ガヴョット、エチュード、シャコンヌ、プレリュード、エア、ミュゼット Op.123</p>
<b>第3回</b> 7/8 [月]	<p>&lt;第1部&gt; 1875年～1878年の作品より 「100のトランスクリプション」より抜萃（メンデルスゾーン、シューマン、ライネッケ自編、ルビンシテイン各2曲）/24の小練習曲 Op.137 3つのピアノ曲（チェロ小品集 Op.146の自編）/W.A.モーツァルト：「戴冠式協奏曲」よりラルゲット（ライネッケ編）</p> <p>&lt;第2部&gt; 1879年～1881年の作品より レントラー Op.152/P.A.モンシニー：「ゴルコンドの王女アリエヌ」よりシャコンヌとリゴードン（ライネッケ編）/4つのピアノ曲 Op.157 ピアノ協奏曲第1番 Op.72よりアダージョ（ライネッケ自編）/言葉のないメルヘン Op.165</p>
<b>第4回</b> 7/27 [土]	<p>&lt;第1部&gt; 1882年～1884年の作品より 組曲 Op.169/ファレーネン（小さな蟻） Op.172/2つのピアノ曲 Op.175/左手のためのソナタ Op.179/アイン・メルヘン Op.180</p> <p>&lt;第2部&gt; 1887年～1888年の作品より ロココの時代より Op.197/揺籃から墓場まで Op.202</p>
<b>第5回</b> 9/15 [日]	<p>&lt;第1部&gt; 1890年～1893年の作品より 音楽幼稚園 Op.206より第8集「子供の仮面舞踏会」/バラード第2番 Op.215/3つのピアノ曲 Op.219/聖書の絵画集 Op.220</p> <p>&lt;第2部&gt; 1894?年～1897年の作品より クリスマスの歌による2つの小幻想曲 Op.221/ある夏の日 Op.225/ノヴェレツェ Op.226/3つのピアノ曲 Op.234 習作と変容-ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの主題による Op.235/アレグロ・アパッショナート</p>
<b>第6回</b> 10/29 [火]	<p>&lt;第1部&gt; 1900年～1906年の作品より 3つのピアノ曲 Op.247/パステル画集 Op.258/3つのピアノ曲 Op.259/6つのモダンな性格的スケッチ Op.266/メディアツィオーネ/花の歌 Op.276</p> <p>&lt;第2部&gt; ライネッケへの献呈作品集 ローベルト・シューマン（1810-1856）4つのフーガ Op.72/ステファノー・ゴリネリ（1818-1891）ファンタジー・ロマンティック Op.58 ルイス・ケーラー（1820-1886）舞踊練習曲集 Op.36/アレクサンダー・ザジツキ（1834-1895）バルカロール Op.5/フランツ・ラッハナー（1803-1890）組曲 Op.142 フェルッチョ・プゾーニ（1866-1924）ショパンの前奏曲（Op.28-20）による変奏曲とフーガ Op.22</p>

チケット販売 ▶▶ 芸文プレイガイド（052-972-0430） / ブレイクカフェ（Halle Runde 1階）

Web Live Concert 同時開催 ルンデ会員登録が必要です。詳しくはルンデWebサイトのチケット購入ページでご確認ください。

#### 感染症対策のためのお願い

- 発熱（37.5℃以上）および体調不良の方のご来場はお控えください。公演後でも構いませんのでご連絡いただきましたら、ルンデ主催の他公演への振替をいたします。
- マスクをご持参ください、ロビーより着用をお願いいたします。
- 感染症の流行状況により、席数を減らして公演を行う場合がございます。ご希望の席をご用意できない場合がございますことご了承ください。
- 詳しくは下記 URL よりご確認ください。

#### [Halle Runde ポリシー]

<https://dbf.jp/plazza/index.cfm?page=hallpolicy>



一般財団法人 ルンデ

〒466-0044 名古屋市昭和区桜山町1丁目21番  
TEL：052-846-8566 / E-mail：runde@dbf.jp

[アクセス]

- ホールへお越しの方の駐車場ご利用はお断りいたします。
- 名古屋駅からは、名古屋市営地下鉄桜通線  
金山駅からは、名古屋市営バスをご利用ください。
- ・名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線「御器所駅」3番出口
- ・名古屋市営地下鉄桜通線「桜山駅」1番出口
- ・名古屋市営バス「桜山」  
（それぞれ徒歩10分程度）

<https://dbf.jp/runde/>

